

## 田中大庄次郎氏文書(1)概要

- 1: 文書群番号 095112
- 2: 文書群名 田中大庄次郎氏文書(1)
- 3: 出所 田中大庄次郎家
- 4: 家業・役職等 庄屋
- 5: 地名 摂津国川辺郡神崎村／兵庫県川辺郡神崎村／川辺郡小田村神崎／尼崎市神崎／尼崎市神崎町ほか
- 6: 行政区分 幕府領／尼崎藩領／兵庫県第11区／下坂部組戸長役場／小田村／尼崎市
- 7: 歴史  
田中家は、近世は神崎村庄屋を務めた。明治期は神崎村総代などを務めている。  
神崎村は神崎川西岸に位置する。古代より神崎津は西国と畿内を結ぶ水運のうえでも重要な湊であった。近世初期は幕府領、元和3年(1617)以降は尼崎藩領。  
近世の神崎駅は大坂と尼崎を結ぶ中国街道の宿駅で、古代以来神崎の渡しがあり、北には有馬道が分岐していた。  
明治22年(1889)以降は小田村、昭和11年(1936)以降は尼崎市の大字。
- 8: 伝来  
市史編集室が昭和38年に調査済みであった本文書群を、阪神・淡路大震災での被災を機に平成8年に史料館が田中正三氏より借用。同11年に寄託された。平成29年11月、田中正喜氏と寄託更新した。
- 9: 史料入手先 田中正三氏
- 10: 点数 270点 (目録件数259件)
- 11: 年代 文禄3年(1594)～明治43年 (1910)
- 12: 構造と内容  
本文書群は、①近世神崎村の庄屋家文書、②近代神崎村の村政関係文書、③田中大庄次郎家の私的文書から構成される。  
①には、額田村の文禄検地帳写し、寛文3年(1663)神崎村検地帳など土地台帳のほか、近世後期の免状、人別送り状などがある。また宿駅関係、あるいは神崎川堤防普請に関する史料がまとまっている。  
②については、地租改正関係、行き倒れ人届など交通関係、学校関係史料などがある。  
③は、近世・近代とも借用証文が大半を占める。大塩事件などの聞き書きなどもある。
- 13: 関連史料 田中大庄次郎氏文書(2) (3)
- 14: 閲覧条件 原本
- 15: 作成者 河野 未央